



誦道

●…県遊技業協同組合最北支部（増井浩一支部長）と県遊技業暴力追放対策協議会（井上静夫会長）の暴力追放研修会が9日、東根市の「のゝか本郷館」で開かれ、組合員ら10人が反社会勢力による不当要求への対応を学んだ。写真。

●…村山署の工藤敦史刑事課長が「暴力団情勢と不当要求の対策について」と題して講話した。暴力団の構成員数は減少傾向にある一方、県内で暴力団による恐喝未遂事件などが発生しているとした。



●…企業に対する不当要求の事例も紹介し▽相手より多い人数で対応する▽念書などは書かない▽企業のトップには応対させない▽などの対策を説明。

「反社会勢力はいつ来るかわからない。シミュレーションが大切」とのアドバイスに、参加者は気を引き締めていた。

（小林達也）

不当要求への対処法学が

県遊技業組合庄内支部の研修会

三川

県遊技業協同組合庄内支部

（支部長・渡辺茂太郎同組合専務理事）の暴力追放研修会が15日、三川町のな



花ホールで開かれた。写真。庄内地域のパチンコ店関係者が反社会的勢力からの不当要求への対処法を学んだ。

同支部の組合員ら約20人が参加し、鶴岡警察署の成原健一刑事2課長が県内外の暴力団情勢と不当要求への対処法について説明した。成原課長は、全国的に1963（昭和38）年をピークに構成員は減少し、近年は暴力団排除条例の施行、取り締まり強化などで

表面的な勢力は縮小傾向になっていると指摘。違法薬物売買や特殊詐欺などで資金を得る一方、不当要求も後を絶たないとした。県内勢力は3団体5組織の約70人だが、酒田市内に拠点を置く組織もあることから、注意を呼び掛けた。

成原課長は不当要求があった場合、画像や音声の記録、相手より多い人数での対応、相手を特定できる情報の収集が重要とアドバイス。渡辺支部長は「新たな組織が入り込んでくる危険性もあり、備えを万全にしてほしい」と話した。

（秋葉宏介）

不当要求の対応は 暴力団追放へ研修会

三川町で県遊技業協同組合庄内支部

庄内地域のパチンコ店で
つくる県遊技業協同組合庄
内支部(渡辺茂太郎支部長)

は15日、三川町のみかわ振
興公社で暴力団追放研修会
を開いた。組合員が警察に

よる講演会を通じて、庄内
地域の暴力団の情勢や不当
要求を受けた際の対応など



暴力団からの不当要求の対
応について学ぶ参加者
を学んだ。

同組合と県警本部は、①
恐れのない②利用しない③金
を出さない④交際しない
の4本柱で暴力団追放運動
を推進。その一環として庄
内支部では、一般客に安心
して利用してもらおうと2
002年から毎年、警察の
暴力団担当課長を講師に研
修会を開いている。この日
は各店の経営者や店長など
16人が参加。鶴岡警察署刑
事第2課の成原健一課長か
ら講話を聞いた。

成原課長は全国の暴力団
の歴史を振り返った後、県
内情勢について解説。20

20年時点で3団体、5組
織、構成員約70人。組員の
高齢化により年々減少して
いるが、「未だに飲食店を
狙った恐喝事件が県内で起
こっており、特殊詐欺によ
る資金集めが増えている」
と注意を促した。

その後、暴力団からの不
当要求に関するDVDを観
賞。「特に、会話の記録化、
複数人での対応、相手の特
定、遠慮のない通報を意識
して」と有事の対応を伝え
た。ダイナム山形イオンタ
ウン酒田店(酒田市)の村
上二夫ストアマネージャー
は「過去に不当要求の対応
をしたことがあったので、
今回学んだことを今後に生
かしたい」と話した。